

2023年10月吉日

お客様各位

一般財団法人 日本塗料検査協会

JIS Z 9096 の耐摩耗性に関する注意喚起のお知らせ

拝啓 秋麗の候 貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

当協会では、JIS Z 9096:2012 床面に設置する蓄光式の安全標識及び誘導ライン 6.12 耐摩耗性試験のうち、“壁面から 200 mm 以内（壁面から蓄光式の安全標識及び誘導ラインの端が通路及び廊下の中央寄りまで）及び階段の壁面に設置する場合”の試験を行っております。この試験は、JIS H 8682-1:2013 アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化皮膜の耐摩耗性試験方法-第1部:往復運動平面摩耗試験に基づき研磨紙 CP#320 を用いて、摩耗回数（ダブルストローク）を 600 回行います。

当該試験は、“床面に設置する場合”の JIS A 1451:2013 建築材料及び建築構成部分の摩耗試験方法（回転円盤の摩擦及び打撃による床材料の摩耗試験方法）とは異なりますので、ご留意願います。

JIS Z 9098:2016 災害種別避難誘導標識システム 附属書 H（参考）災害種別避難誘導標識システムの暗闇対策 H.2.1.2.3 その他の性能のうち、JIS Z 9096 の性能基準を参考に設置場所に適した性能を選択する際にご注意ください。

“壁面から 200 mm 以内（壁面から蓄光式の安全標識及び誘導ラインの端が通路及び廊下の中央寄りまで）及び階段の壁面に設置する場合”は、JIS H 8682-1 の往復運動平面摩耗試験の結果を参考にし、“床面に設置する場合”は、JIS A 1451 の建築材料及び建築構成部分の摩耗試験方法を参考にしてください。

以上に関して、報告書の記載内容でご不明な点がございましたら、当協会の東支部 検査部までご相談ください。

敬具